

空豆，蚕豆，ソラマメ



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm



暖冬で生育はいいのですが、アブラムシにも暖冬。彼らも元気で困っています。

冬の農園で緑鮮やかなのはソラマメです。実はソラマメ，わたしたちの研究室には縁のある作物です。植栄研はホウ素の機能について長年，研究してきましたが，ホウ素が植物の必須元素であることがわかったのは1923年，ソラマメの実験を通してでした。下図はそのことを発見したワーリントン女史の論文の挿絵。ホウ素があると順調に大きくなりますが（図中央），欠乏すると根が伸びません（図右側）し，ホウ素が多過ぎても根の成長はよくありません（左側、過剰害）。当時の論文に載っていたのは写真ではなく精緻なイラストでした。

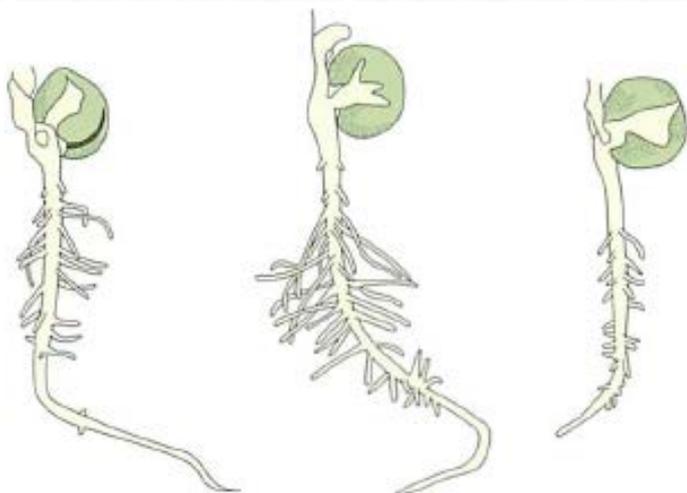


図3-96 ワーリントンによる必須元素
ホウ素の発見

Annals of Botany 誌 27 卷 633 頁(1923)に掲載されたソラマメ根のホウ素に対する応答の図。右からホウ素無添加，中：ホウ酸 20mg/L 添加区，左：200mg/L 添加区。（Oxford University Press 2359241169658 より転載許諾）